



ふくおか [Good] 農業人100
 主な農産物 / トルコギキョウ

中津留 大さん (34歳) (営農地 / 福津市奴山)

師匠は義父、栽培技術が大切

《就農のきっかけ》

自分もこんな花を作りたい

県内の紳士服店で働いていた中津留さんは、自分に合った仕事を探すため、就職して6年目に仕事をやめました。妻と実家に帰ったとき、時折、ハウスで咲くトルコギキョウの花を目にしていた中津留さん、いつしか「自分も花を作りたい。」という想いが徐々にこみ上げてきたといいます。販売員の仕事をやめてから約1年後、義父と一緒にトルコギキョウを栽培することになりました。

「自分が農業をするなんて、それまで全く想像したことなかったです。妻の実家が花農家でなかったら就農してないと思いますよ。ハウスで咲くトルコギキョウの花を見て、いつしかこんな花を自分も栽培してみたいと思うようになったのではないのでしょうか。」と、当時の心境を中津留さんは語ってくれました。

《これまでの過程》

義父から技術習得し、今では現場責任者

農作業は何もかも初めてであったため、最初の2、3年はいつも義父に付いて技術を学びました。しかし、今まで苦しいと思ったことは全くなかったと言います。自分のペースでできる農業が中津留さんにはあっていたようです。

花の販売先は主に農協共販であったため、就農当初から部会行事にも積極的に参加。周囲の部会員からも温かく迎えられ、栽培技術等色々なことを学び、相談できる環境にも恵まれました。

就農して3年目位から、義父から作業を任せられるようになり、今では作型や品種の選定、作業管理など現場責任者として、ほとんどの栽培管理を任せられるようになりました。

中津留さんの就農により、労働所得を確保するため、新たにユリを作付し、ハウスを周年利用することで収益の確保を目指しました。現在は秋出しと春出しのトルコギキョウを栽培し、ハウスを有効利用しながら収益を確保しています。

今年からはハウスを10a増設。トルコギキョウの単価が上がる時期を狙った作型の栽培にも取り組む予定です。



プロフィール

- 家族構成 / 父、母(妻方)、本人、妻 ■前職 / 販売員
- 営農年数 / 約6年 ■耕作(経営)面積 / 30a
- 販路 / JA共販

《これからの展望》

しっかりとした栽培技術を身につけ、次の経営展開へ

まずは、トルコギキョウの栽培技術をしっかり身につけることです。まだまだ、かん水管理などの勘所が身につけておらず、失敗することも…。義父から学んだ技術をしっかり自分のものとし、秀品率を向上させ、収益を上げていきたいです。将来的には親の高齢化のことも考えないといけません。今は忙しい時期のみパートを雇っていますが、将来は自分の右腕になるくらいの雇用者の確保も考えています。面積拡大も視野に、来たるべき経営継承に向けて経営の展開を考えないといけないと思っています。



Good 成功のためのポイント

やっぱり、栽培技術ですね。私の場合は、しっかりと技術を教えてもらえる師匠がすぐ傍にいたから、スムーズに就農できたと思います。就農を目指すなら、まず、自分が栽培したい品目の栽培技術を教えてもらえる生産者のところへ研修に行くとか、習いに行くとか、そういう努力をしないとどうも農業は簡単にできないと思いますよ。